

JP142 対馬 (つしま)

長崎県：対馬市

位置	N 34° 12′ E 129° 14′
面積	69,710ha

環境構成【島嶼／森林】

対馬は九州の北西部に浮かぶ島で、九州本土より朝鮮半島に近いところに位置する。全島山地で、下島で 600m、上島で 300m を超える山は森林で覆われており、昔から林業が盛んに行われている。

朝鮮半島に近いという地理的特性と、島でありながら森林の発達している環境特性から、日本では冬鳥として飛来するミヤマホオジロやシロハラが相当数繁殖している。特にその密度の濃い上島の御岳が鳥類の繁殖地として国指定鳥獣保護区に設定されている。

選定理由

A1	ウチヤマセンニュウ
A2	カラスバト
A4iv	アカハラダカ

保護指定

サイトの一部（10～49％）に法的な担保がある。

<保護指定の内容>

県指定鳥獣保護区（御岳、木坂、龍良山）、国定公園（壱岐対馬国定公園）、自然環境保全地域、保護林

保全への脅威

- ・ウチヤマセンニュウについては、対馬の属島で繁殖しているものと思われるが詳細は不明。特に開発の計画はない。
- ・カラスバトは各地の森林で観察されている。各地で林道の延長工事がされており、自然林の伐採も進んでいるため、食物となる樹木の減少が懸念される。
- ・アカハラダカは主に秋季数万羽の集団として通過している。渡りの際はねぐら入りをする個体も多い。各地に建設されている風力発電の数が増えると、飛行中の事故が増えることが懸念される。

鳥類の個体数、生息環境の現状

- ・ IBA サイトにおける重要な鳥類（IBA 選定基準種）の個体数の変化：
減っている（アカハラダカ）
- ・ IBA 基準種の個体数のカウント調査実施の有無：有
＜調査データの入手方法＞
アカハラダカは「野鳥通信・・・対馬から」の HP にカウント数が掲載
- ・ IBA 選定基準種の個体数に影響するような、IBA サイト内の重要な生息環境の変化：
変化はない
- ・ IBA 選定基準種の生息環境：
良好（全域、もしくは 90%以上が最適の状態）

保全活動

無し

見られる鳥

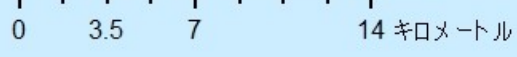
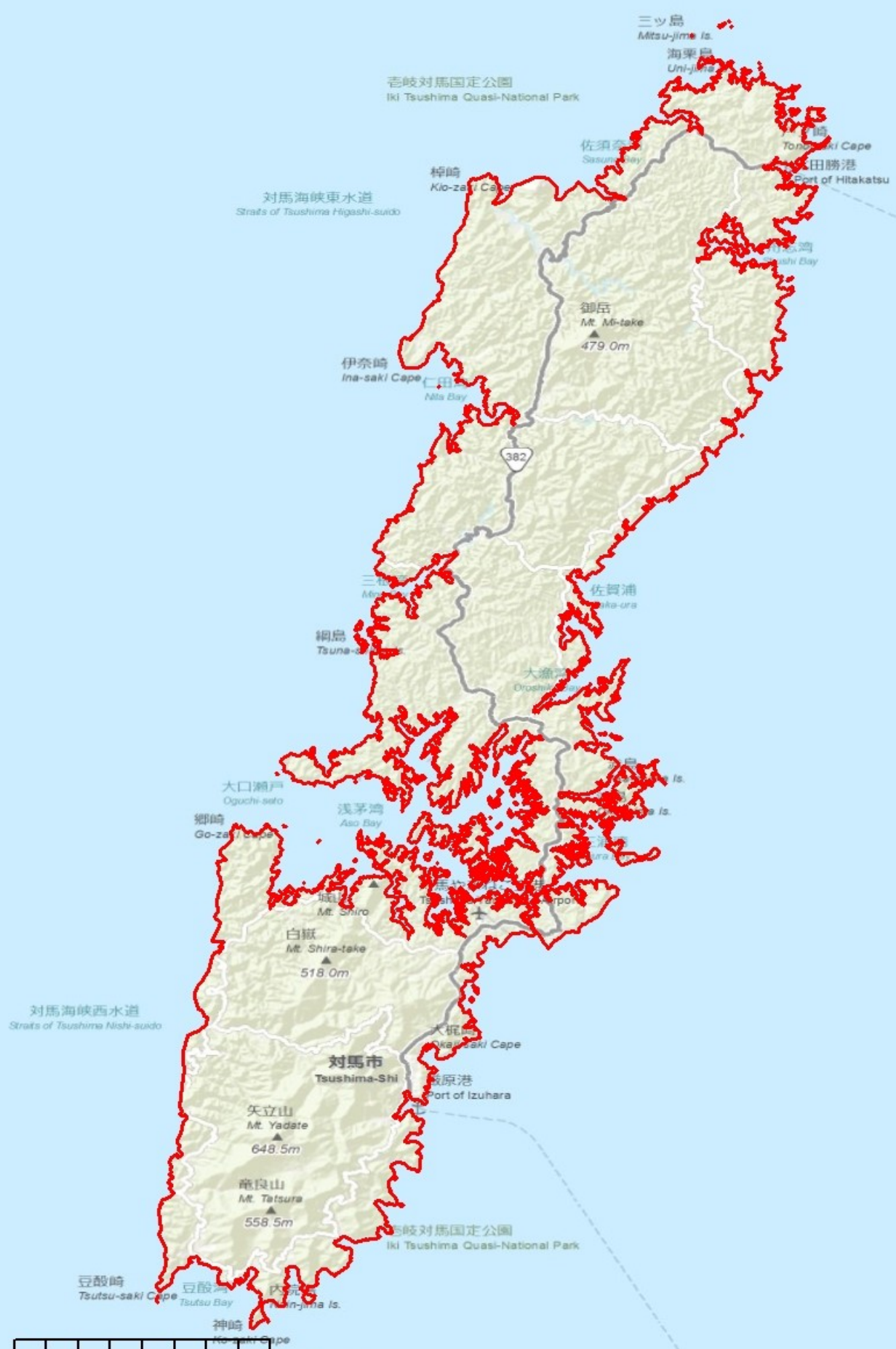
今までの調査記録によると 330 種を超える鳥が確認されている。

見られる鳥	アビ、カイツブリ、ウミウ、ミゾゴイ、アオサギ、カラシラサギ、ヒシクイ、マガン、オシドリ、シノリガモ、ミサゴ、オジロワシ、オオワシ、アカハラダカ、ハイタカ、ハヤブサ、キジ、ナベヅル、マナヅル、ヒバリシギ、オグロシギ、セグロカモメ、ウミネコ、ウトウ、カラスバト、ツツドリ、オオコノハズク、ハリオアマツバメ、ヤマショウビン、ブッポウソウ、ヤツガシラ、コゲラ、ヤイロチョウ、コシアカツバメ、ツメナガセキレイ、サンショウクイ、タヒバリ、ミソサザイ、ノビタキ、シロハラ、キビタキ、オオルリ、ヒガラ、ミヤマホオジロ、コクマルガラス
--------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

関連団体・自治体・施設等

- ・ 対馬野生生物保護センター

N



Sources: Esri, HERE, DeLorme, TomTom, Intermap, increment P Corp., GEBCO, USGS, FAO, NPS, NRCAN, GeoBase, IGN, Kadaster NL, Ordnance Survey, Esri Japan, METI, Esri China (Hong Kong), swisstopo, MapmyIndia, © OpenStreetMap contributors, and the GIS User Community